

創立五十周年 1967-2017

青森総合卸センターニュース



編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2017(平成29)年6月30日



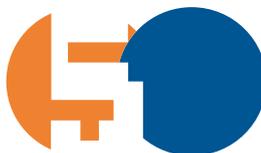
総会後の懇親会で50周年記念ロゴを紹介する西理事長

総会では西理事長が議長に選任され、2017年度事業計画や収支予算案等が原案どおり承認された。2017年度は組合創立50周年記念事業として、記念式典の開催や記念誌の作成、卸団地の空撮及び記念広告等を実施。また、組合創立以来初めてとなる記念出資配当も実施することとなった。経済事業としては、施設の長寿命化を図るため、共同物流センターの壁面補修工事、第二問屋町北口広告タワーや共同駐車場のサイン改修工事に加えて、問屋町会館のアスファルトや消防設備の改修工事なども実施する。

また、安心・安全な「まちづくり」へ向けて、防犯カメラを増設する。昨年度、問屋町大通りに設置した防犯カメラが有用であったことから、枝線道路の団地接続箇所へカメラを新たに取り付ける。健康事業では、これまでの事業に加え、連携機関の支援を仰ぎ、組合員の健康づくりを具体的にサポートする「とんやまち健康づくり実践塾」を新たに実施。青森市南部の健康づくりの拠点として、積極的に活動する。その他、金融事業保証基金細則や建築協定を一部改定。また、環境整備負担金は、防犯カメラの導入等により団地内の警備体制を効率的な運用に見直した結果、坪数割額(年額)を引き下げる事が承認された。総会終了後には懇親会が開



市内を走行するバスに広告



創立五十周年 1967-2017
おかげさまで50年、問屋町

50周年記念ロゴ



第50回定時総会

組合創立50周年記念事業の実施など承認 第50回通常総会

創立50周年を迎える2017年度の事業計画案や建築協定の一部改定等を審議する第50回通常総会が5月23日(火)、ホテル青森で開催された。同総会には本人出席、委任状出席合わせて123名が出席した。総会では西理事長が議長に選任され、2017年度事業計画や収支予算案等が原案どおり承認された。2017年度は組合創立50周年記念事業として、記念式典の開催や記念誌の作成、卸団地の空撮及び記念広告等を実施。また、組合創立以来初めてとなる記念出資配当も実施することとなった。経済事業としては、施設の長寿命化を図るため、共同物流センターの壁面補修工事、第二問屋町北口広告タワーや共同駐車場のサイン改修工事に加えて、問屋町会館のアスファルトや消防設備の改修工事なども実施する。

50周年記念ロゴで広くPR

組合では、創立50周年を迎えるにあたり、50周年記念ロゴを作成した。また、組合ロゴも今年度限定で、これまでの緑と青の組み合わせに代え、オレンジと青のカラーを用いることとした。

同ロゴは、名刺や封筒のほか、記念ポスターなどの各種広告にも使用する。また、当誌1面も今年度限定で50周年記念ページとする。加えて、創立50周年を内外に広くアピールするため、記念ロゴの車両マーキングシートを組合員へ無料配付するほか、青森市営バスへの記念広告も実施。市内全域を走行する市営バスの後方窓ガラスに広告を掲示することで、市民への周知も図る。今年度は記念ロゴを活用し、問屋町ブランドを広く発信する。

催され、西理事長があいさつの中で50周年記念ロゴを紹介した。続いて来賓を代表して佐々木青森県副知事、小野寺青森市長が祝辞を述べた。その後、新規加入組合員の(株)たかのや、(株)リエラの紹介が行われ、青森商工会議所の若井会頭の乾杯の音頭で祝宴に入り、懇親会は大いに賑わった。

西中会長を再任

青森問屋町経営同友会

青森問屋町経営同友会の第38回定時総会が5月12日(金)にホテル青森で開催され、会員26名が出席した。

総会では、提出議案が全て原案どおり承認。任期満了に伴う役員改選では、西中会長が再任され、その他の役員も全員再任された。

また、総会に先立ち、プロバスケットボールチームである青森ワッツのチアダンスチーム「ブルーリングス」の岩館千歩ディレクターを講師に招き、「夢を叶えるために」

をテーマに特別講演会を開催。同氏はこれまで、学生時代にチアで全国優勝、体育教師、楽天主アリーダー、青森ワッツのチアダンスチーム立ち上げと、自身の夢を叶えてこられた。

第10回定時総会

問屋町支店長・所長連絡会

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の第10回定時総会が6月7日(水)にホテル青森で開催され、同会員23名が出席した。

総会では、佐々木会長(コセキ(株)所長)が議長に選出され、審議の結果、全て原案どおり承認された。任期満了に伴う役員改選では、2名が欠員となっていた新幹事に(株)金入の石戸谷支店長と橋本総業(株)の松田支店長を選任。佐々木会長をはじめ、その他の役員は留任となった。

当日は、総会前に特別講演会を開催。新体操とダンスを

をテーマに特別講演会を開催。同氏はこれまで、学生時代にチアで全国優勝、体育教師、楽天主アリーダー、青森ワッツのチアダンスチーム立ち上げと、自身の夢を叶えてこられた。

岩館氏は「今の夢は、青森にチアやプロスポーツエンターテインメントを文化として根付かせること。また、青森ワッツが優勝すること。夢を叶えることはゴールではなく新たな夢を見つけるスタートである」と熱く語った。

総会後の懇親会では、ダイエツトグランプリの体重測定(中間報告)を実施。参加者が融合させた『BLUETOOTH YO』の発起人でプロデュースを行っている(株)AKCOMPANYの荒川栄社長が講師を務め、「部活動(男子新体操)を基軸とした地方創生」をテーマに講演した。

荒川氏は、学生時代に男子新体操で何度も全国優勝を果たし、その後は指導者としても教え子を全国優勝に導くなど活躍。現在は、青森山田高校男子新体操部の監督を務めるかたわら、男子新体操の課題となっていたプロ(仕事)創りとジュニアの普及活動に取り組んでいる。

氏の活動により男子新体操のプロユニット『BLUETOOTH OKYO』発足をはじめ、卒

の体重の増減具合に会場は大盛り上がりとなった。



岩館氏と青森ワッツの応援練習

パソコンリサイクル収益金を寄付

5月9日(火)に、当組合が2016年度のパソコンリサイクル回収で得た収益金を

業生がアーティストのツアーパフォーマーやシルク・ド・ソレイユ、劇団四季等で活躍。リオ五輪閉会式では、青森大学男子新体操部がパフォーマンスを披露するなど、世界的に注目度が高くなっている。地元青森でも、男子新体操とねぶたをコラボさせた『ぶ



講演する荒川氏

寄付した。

寄付先は、パソコンリサイクル回収事業委託先及びパソコンの分解作業に携わっている青森市内の障がい者施設の2社。当日は、リサイクル回収の担当委員である大平環境対策委員長が施設を訪問し、代表者に目録を手渡した。パソコンリサイクル回収は2012年に実験事業がスタートし、翌年から本稼働へ移行。これまでの回収量は2千台を超え、ピーク時には1回の回収で250台以上集められた。現在はウインドウズXP終了に伴う入れ替え需要も一段落し、回収量も落ち着いて

プロデュースする荒川氏は、「男子新体操というコンテンツを通して地元青森を盛り上げていきたい」と意気込みを語った。

ユアテックが問屋町の清掃活動を実施

ゴールデンウィークが明けた5月8日(月)に、問屋町南側に位置する(株)ユアテック

青森支社・青森営業所が近隣地域の清掃活動を実施した。同社従業員約140名が参加した清掃活動では、同社の周辺から問屋町大通りまでの広範囲においてごみ拾いが行われた。

ユアテックの清掃活動は同社のCSR(企業の社会的



ユアテック清掃活動

責任)活動の一環として2006年からスタートし、毎年、春と秋の2回実施。今年で12年目を迎える。また、近年、同社の従業員が問屋町緑のボランティア隊の活動にも参加しており、問屋町の景観美化向上に大きく貢献している。



大平委員長が目録贈呈

ている。そこで今年の1月からは、これまでの毎月1回の回収を2か月に1回(偶数月第4水曜日)に変更した。組合では組合員に対するメリットや社会貢献度も高い事業であることから、その時々々の事情に合わせて回収方法等の見直しを行い、事業を継続していく。

一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬

三協運輸株式会社

三協クリーンサービス株式会社

〒038-0023

青森市大字細越字栄山590-12

TEL 017-739-6426 FAX 017-739-1612

明日を創り 明日をひらく

教育・福祉施設・OAシステムトータルプランニング

教育設備品・理化学機器・視聴覚機器・保育用品

介護福祉機器・文具事務機器・OA機器

OEE 株式会社 大平教材社

〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目5番33号

TEL 017(762)3111(代) FAX 017(762)3130

E-mail: oodaira@infoaomori.ne.jp

http://www.infoaomori.ne.jp/oodaira/

今年度の組合レクリエーション事業

- ①第25回問屋町納涼パーティー
日時 7月14日(金)
場所 ホテル青森
- ②八甲田山ハイキング
日時 7月30日(日)
8時30分～14時
場所 八甲田山
- ③ボルダリング教室
日時 8月22日(火)
19時～22時
場所 G.I.D.C.I.M.B.I.N.G
- ④第4回若手従業員親睦交流会
日時 9月15日(金)
19時～21時
場所 ホテル青森
- ⑤フルーツバイキング
日時 9月24日(日)
10時～13時
場所 青森観光りんご園
- ⑥ボルダリング教室
日時 11月6日(月)
19時～20時
場所 G.I.D.C.I.M.B.I.N.G
- ⑦第41回ボウリング大会
日時 11月17日(金)
19時～21時
場所 アオモリボウル
- ⑧フラワーアレンジメント教室
日時 11月下旬
18時30分～19時30分
場所 問屋町会館
- ⑨ボルダリング教室
日時 2月8日(木)
19時～20時
場所 G.I.D.C.I.M.B.I.N.G
- ⑩第5回若手従業員親睦交流会
日時 2月16日(金)
19時～21時
場所 ホテル青森

業務報告

主要事項

- 5月
 - 9日▽パソコンサイクル回収収益金寄付
 - 11日▽第2回問屋町合同清掃
 - 12日▽問屋町経営同友会第38回定時総会
 - 15日▽金融審査会
 - 16日▽県計画・建設診断
 - 17日▽青森社会保険委員会定時総会
 - 17日▽県中小企業診断協会理事會
 - 18日▽あおりコンピュータ・カレッジ運営委員会
 - 18日▽市産業振興財団常務會
 - 19日▽第50回通常総会
 - 23日▽青森卸センター(株)第48回定時株主総会
 - 24日▽市高度化事業団体連絡會
- 協議會幹事會
 - 25日▽安協問屋町支部第1回役員會
 - 26日▽安協問屋町支部交通安全グッズ寄贈式(荒川小学校)
 - 31日▽商團連事務局長會世話會
- 問屋町 ビジネススクール
 - 11日▽ビジネスマナー研修(挨拶、名刺交換編)
 - 17日▽業界で生き残るために(名刺交換編)
 - 18日▽Y.S.C.L.U.B.Ⅱ(木曜コース)③
 - 19日▽Y.S.C.L.U.B.Ⅱ(金曜コース)③
 - 22日▽これから学ぶ会計経理(導入編)①
 - 25日▽これから学ぶ会計経理(導入編)②

組合50年の歩み 第8回

「組織変革と景観整備②」
【1997年～2006年】

2000年代に突入り、団地造成から30年あまりが経過。組合及び組合員施設も老朽化が進み、組合員が「遠い・古い・汚い」と芳しくなかった。組合としては、「遠い・古い」は致し方ないとして、「汚い」は改善しなければならぬ課題として抱えていた。また、2003年に青森中央インナーチェンジが第二問屋町北口に開通したことで、問屋町が、青森駅や青森空港に次ぐ、新たな青森市の「顔」にふさわしい景観整備が求められるようになってきた。

そこで組合では、「景観整備」を最大の情報発信ツールとすべく、「街並・景観整備プランニング」を策定。統一されたデザインやイメージで問屋町をアピールするため、C.I.(コーポレート・アイデンティティ)計画を推進することとし、「人・モノ・情報」が集まる賑わいのある「まちづくり」に、次のよう

に取り組んだ。組合では2005年を景観元年と位置づけ、組合ロゴマークを一新し、これをベースにサイン展開を図った。まずは、卸団地のメインゲートである問屋町東口と第二問屋町北口の2箇所に電光設備を備えたゲートサインを新設。ついで、第二問屋町北口の広告タワーサインもリニューアルしてデザインを一新したほか、照明機能や懸垂幕掲示機も追加。さらに、共同倉庫のシャッターマークや駐車場の看板に加え、名刺や封筒などの印刷物にも共通デザインを用い、イメージアップを図った。

特に効果的だったのが車両マークやシールの配付。組合員の営業車両に組合のロゴマークを貼って走行してもらうことで、走る広告塔としての機能はもろろん、組合員の一体感醸成にも一役買った。その他、景観整備事業として、花と緑のまちづくりを推進させることを目的に、組合員従業員らで組織する問屋町緑のボランティア隊を結成。同隊の活動は現在も続けられ、団地内緑地への花苗植栽や街路樹の下枝刈り払い、街路樹の除草などを行っている。景観向上に大きく貢献している。サイン展開はその後も進められたほか、2002年からスタートした問屋町合同清掃も今では毎回200名以上が参加するほど規模が拡大。団地内の一斉ゴミ拾いや歩道の



統一デザインの各種サイン

おいしさはつらつ

チアーズ

プライフーズ株式会社

青森営業所 〒030-0131 青森市問屋町1丁目14-20
電話017-738-4381 ファックス (017)738-9414

本社 〒039-1121 八戸市卸センター1丁目11-8
電話0178-28-2154(代) ファックス (0178)28-8573

海産乾物問屋
昆布を食べよう

株式会社 **丸モ最上商店**

青森市問屋町二丁目14番22号
TEL 017-738-5891
FAX 017-738-5895
http://www.mogami.biz

～明日のエネルギー環境を創る～

ボイラー・空調機器等の

アイ・スイー・サービス 株式会社

据付・修理・計装・保守サービス

〒030-0131 青森市問屋町一丁目12番2号
本社 TEL TEL 017-738-7788
十和田(営) TEL TEL 0176-22-9202
むつ(営) TEL TEL 0175-31-1191

事務機・事務用品の総合商社

〒030-0113
青森市第二問屋町三丁目3-34

株式会社 金入 青森支店

TEL 017-739-9001
FAX 017-739-9011

問屋町健やかレターが 創刊から1年

当組合が発行する「問屋町健やかレター」が創刊から1年を迎える。

同紙は、組合員従業員らの健康増進に対する啓蒙活動の一環として、昨年7月に創刊。毎月1回発行し、理事会や委員会、昼食会など組合員が集まる会議等で繰り返し配付。健康に役立つ情報を定期的に届けている。

編集担当は事務局の田中職員。NHKの生活情報番組「ガッテン」などを参考に、身近で、簡単に取り組める健康情報を紹介している。



編集を担当する田中職員

先日、厚生労働省が発布した2015年度の「年齢調整死亡率（死亡数を人口で除した率）」では、青森県が男女ともワースト1位。組合では短命県返上に向け、青森市南部の健康づくりの拠点として、健康事業に積極的に取り組んでいく。

問屋町ストアで 手作りパン販売

問屋町会館内にある「問屋町ストア」で、手作りパンの販売がスタートした。

販売日は毎週火・木曜日。販売するパンは、市内に3店舗を展開する人気パン店「リトルプリンセス」の手作り商品。販売初日となった6月6日（火）には、100個以上のパンがすぐに売り切れ。その後もお昼時には品切れとなることも多く大人気となっている。

一番人気は「塩カルピスバターパン」。幻のバターと言われる希少な「カルピスバター」とグループを通じて全国的なエリア分析も可能で、お客様の折込広告展開やマーケティングなどを全面的にバックアップいたします」と述べた。



美味しそうなパンが並ぶ

をふんだんに使い、深い味わいでありながらスッキリとした後味が楽しめる、サクツとした歯ごたえも抜群。LINE@で簡単に予約もできるので、ぜひLINEでおともだち登録を。
ID検索：@fmi2340q

団地企業訪問

今回の団地企業訪問では、今年の12月に新たに組合員となった、(株)青森読売ISの柴山社長にお話を伺った。

同社は昭和58年4月に創立し、新聞折込広告を主に、マーケティングリサーチやポスティング、パンフレット・カタログなどの印刷からデザインまで総合的サービスを提供している。

「折込広告は暮らしに身近な多くの情報を新聞とともに毎日家庭に届けられるため、日常生活においてとても信頼性の高い媒体となっています。制作から配布日までが短期間で済むため速報性が高く、新聞販売店単位のエリア選択により狙った地域

への確実な配布が可能で、コストパフォーマンスの高いメディアとなっております。更に当社では、読売新聞グループの緊密な情報と配送ネットワークで、全国紙・地方紙を問わず全国各地への情報発信を可能とし、お客様の全国展開を支援いたします」と語った。



(株)青森読売IS
代表取締役社長
柴山 靖 氏

若年者の新聞離れが進んでいます。このような状況下での当社の役割は、折込広告に加え、ポスティングやテレビ・ラジオなど、お客様のマーケティングの課題にお応えすべく最適なメディアをご提案していくことだと感じています。今後とも、企業理念の「Swi t c h o n ー くらしに、ココロに、未来に。」を胸に、総合広

告会社として社員一同チカラをひとつに、お客様のニーズに合ったサービスを提供していきます」と熱く話した。

福岡出身の同氏に自身の事について聞くと「飲み会が多いとはいえ、健康面を考えると飲みすぎには注意したいと思ひ、気休めですが野菜ジュースを毎日飲むようにしています。現在は、(株)秋田読売ISを兼任しているため普段から移動が多いですが、その時間を活用して読書や音楽鑑賞をしながらいろいろ考える時間をもっています。青森や秋田に来て、その地域での暮らし方の違いが体感でき、その土地に実際に足を運びいろいろの所を見て歩くというのは本当に大切なことだと改めて実感しています」と笑う。

編集後記

今年度は、いよいよ記念すべき「組合創立50周年」です。半世紀とは凄い歴史的時間で、創立時の1967年から50年経れば1917年になり大正7年です。この年は歴史的には、ロシア革命が起こった年で、第一次世界大戦が終る前年にあたります。50年の時間の重みをかみしめて、団地創立からの組合員と組合役職員の先人達のご苦労に思いをはせながら、50周年記念事業に取り組みたいと思っています。転話題。今回は6月18日に放送されたNHKスペシャル「睡眠負債」についてです。

「睡眠負債」とは、わずかな睡眠不足が、借金のようにじわじわ積み重なる「蓄積する睡眠不足」のことです。「睡眠不足」を続けていると、ストレスや疲労の影響で生活の質が低下するほか、さまざまな病気のリスクが高まります。最近の研究では、睡眠負債は「脳のパフォーマンスの低下」とどまらず「がんのリスク」や「認知症のリスク」などのリスクを高めていることがわかってきました。▼では、この危険な「睡眠負債」の対策は、どうしたら良いのでしょうか？その方法は単純です。「これまでより長く寝る」ようにすれば良いのです。▼番組では「すみやかに寝るための10か条」が紹介されていました。①午前中に日の光を浴び②食事の時間は一定にせよ③運動は夕方に。散歩もよし④カフェインは寝る3時間前まで⑤酒は寝る3時間前まで⑥寝る2時間前より強い光を避け⑦風呂は寝る30分前に⑧寝室は18度〜26度に保つべし⑨布団でのスマホ・ゲームは御法度⑩寝なきやとあせるべからず。以上の10か条です。「睡眠負債」を少しづつ返済するよう努力しましょう(藤本)

印刷もお願いきないかな？

あの辺りだけに折り込みたい！

デザインから頼む事は出来ますか？

イベントも一緒にお願いしたい！

広告でお困りなら 青森読売ISへ!!!

〒030-0131 青森市問屋町一丁目5番12号
TEL: 017(718)5160 FAX: 017(764)3840

地方創生 全力投球!

青森銀行 <http://www.a-bank.jp/>